

事業番号	09 04 04	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	野菜振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	
		実施期間	S41～	E-mail	enchiku@pref.ngaano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	付加価値を高め、経済成長を実現					
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】	<ul style="list-style-type: none"> ・本県は、露地葉野菜が主体の全国有数の野菜産地であるが、近年の異常気象により作柄が不安定となる懸念がある。今後とも国民に安定供給をする責任産地として重要性が増している。 ・中山間地域を中心に、風土や文化に育まれた伝統野菜が伝承されており、他にはないものを求める実需者からのニーズが高まっている。
	【目指す姿】	<ul style="list-style-type: none"> ・葉野菜を中心とした主要な野菜は、国の需給見直しなど需要に応じた計画的な生産出荷の推進と、価格下落等の出荷調整や価格差補填金などセーフティーネットを備えることにより、生産者の経営安定と消費者への安定供給を図る。 ・「信州の伝統野菜」は、次世代への種の継承と販路拡大を一体的に行い産地形成への取り組みを支援し、中山間地域の活性化と農地保全を図る。
	【実施内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・指定野菜等の価格差補填金の交付のために必要な資金造成及び交付 ・信州伝統野菜認定委員会及び採種指導会等の開催
		など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況		前年度繰越			
1	各種資金の造成率	100%	100%	→	100%	→		100%	達成		
2	夏秋期のレタス、はくさい、キャベツの全指定産地出荷量に占める契約割合	48.9%	47.1%	↓	56.6%	↑		38.8%	達成		
3											
4											
							予算額	273,167	394,800		
							合計(A)	273,167	394,800		
							うち一般財源	246,759	367,718		
							決算額(B)	272,100	391,901		
							職員数(人)	1.95	1.95		

成果指標設定理由	<p>①野菜経営の下支えに必要な最低条件を確保する目標として設定</p> <p>②生産者の経営安定と消費者への安定供給を確保する目標等として設定</p>
達成状況の分析	<p>①各種資金について、必要造成額と既造成額の差額について目標通り資金造成され、野菜の価格低下時の補填に必要な資金の交付ができたことにより、生産者の収入確保につながった。</p> <p>②市場流通における葉菜類は価格変動が大きいため、価格が安定している契約取引の割合が増加傾向にある。</p>
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓レタスなど消費量の多い野菜に係る生産者の経営安定と消費者への安定供給 ・指定野菜(9品目)の市場価格下落時に価格差補てん額を交付するため、必要な資金を造成 ✓生産者と実需者との契約取引の推進と実需者のニーズに応える安定供給 ・指定野菜(9品目)の契約取引において、作柄変動、価格低落により生産者が負うリスクを軽減するため、補てん金を交付するために必要な資金を造成 ✓信州の伝統野菜の産地形成による中山間地域の活性化 ・種子の安定的保存及び無形資産の継承のために採種指導会を開催 ・生産グループの育成と生産力強化のために産地へアドバイザーを派遣



「信州の伝統野菜」採種指導会

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・温暖化の進展による天候不順恒常化により作柄が安定せず、野菜価格の下落が増加している状況。 ・「信州の伝統野菜」については実需者ニーズに対応できる産地育成が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国による価格安定制度は野菜生産出荷安定法に基づく生産者の経営安定対策の根幹であり、市場価格の下落時の価格差補填金の交付に必要な資金造成を今後も現行通り継続する。 ・「信州の伝統野菜」の種の継承を図るため、採種指導会の開催、生産グループの育成により産地育成を図る。

事業番号 09 04 04 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	野菜振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	--------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
1	信州伝統野菜継承・産地育成事業	1,595 千円	1,116 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	種子の安定的保存及び無形資産の継承	直接	信州伝統野菜認定委員会の開催3回、現地調査1回（伊那市）、採種指導会11品種・6回開催（佐久、南信州、松本、長野、北信）、『「信州の伝統野菜」採種の手引』作成
2	生産グループの育成と生産力強化	直接	アドバイザー派遣3品種・4回（南信州2回、長野1回、北信1回）

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
2	指定野菜価格安定資金造成円滑化事業	221,190 千円	340,350 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	指定野菜価格安定資金造成円滑化事業（国制度）	補助金	指定野菜（9品目）の市場価格下落時に価格差補填金を交付するため、必要な資金を造成。

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
3	契約指定野菜安定供給資金造成円滑化事業	2,965 千円	4,025 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	契約指定野菜価格供給資金造成円滑化事業（国制度）	補助金	指定野菜（9品目）の契約取引において、作柄変動、価格低落により生産者が負うリスクを軽減するため、補填金を交付するために必要な資金を造成。

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
4	特定野菜価格安定資金造成事業	0 千円	60 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	特定野菜価格安定資金造成事業（国制度）	補助金	特定野菜（5品目）の市場価格下落時に価格差補てん金を交付するため、必要な資金を造成。

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
5	野菜生産安定資金造成事業		44,900 千円	44,900 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	野菜生産安定事業資金造成事業	補助 金	国制度によらない県野菜品目、出荷期間、出荷市場での価格下落時に価格差補填金を交付するため、必要な資金を造成	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
6	重要野菜出荷調整資金造成事業		1,450 千円	1,450 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	重要野菜出荷調整資金造成事業	補助 金	県産野菜（はくさい、レタス、セルリー）の価格暴落時における価格維持を図るため、出荷調整に対する経費を助成する資金を造成。	